

キャラクターを使った地域コミュニケーション 「キャラクターバトル 街中キャラクター化計画」を実施中！

東京工芸大学(学長:若尾真一郎、所在地:東京中野区/神奈川県厚木市 以下、本学)では、明屋(はるや)書店・中野ブロードウェイ店および文教堂書店・中野坂上店の協力を得て、中野区・新宿区にある様々な店舗や公園をキャラクター化し、シールとして発売する企画「キャラクターバトル 街中キャラクター化計画」を実施しています。

この企画は、本学芸術学部デザイン学科ビジュアルコミュニケーションコース准教授 笠尾敦司が主任を務める研究室の3年生向け授業(コミュニケーションキャラクター演習)として実施しているものです。笠尾研究室では社会の中での新しいキャラクターの使い方の提案を行っています。研究室の3年生はこの演習を通じて、キャラクター制作におけるオリジナリティーと人気を両立させる難しさや、実際に店頭で販売する際に効果的なポスターやポップのデザインについて実践的に学びます。

授業を履修する学生は、中野と新宿にある公園や特徴的なお店など目立つランドマークを独自のイメージでキャラクター化し、シールを作成します。完成したシールは明屋書店・中野ブロードウェイ店および文教堂書店・中野坂上店店頭にて、1シート100円で販売しています。授業は、このシールの売り上げで成績を競うバトル形式になっています。

現在は基本となるキャラクター編のシールを発売中で、6月27日(月)からは夏をテーマにしたスケジュールシール(カレンダーは明屋書店店頭にて無料配布)を発売する予定です。シールの発売は7月25日まで実施します。

また、学生が運営するキャラクターバトルのサイトでは(<http://machinaka.kasaolab.com/top.html>)、学生が制作したキャラクターを見ていただけるほか、最終課題として制作する中野と新宿を様々な切り口で作ったキャラクターマップをダウンロードできるようにする予定です(8月からを予定)。

なお、昨年はキャラクターバトル第2弾として「中野の逸品グランプリ」を受賞した食べ物をテーマに実施し、好評を博しました。今回は3年目の取り組みとなります。次年度以降は、街の皆さんのご要望もいただきつつ、中野と新宿の様々な物を取り上げてキャラクター化し、キャラクターバトルを継続する予定です。最終的には、新宿と中野の街の中にある様々なものから沢山のキャラクターを作り出し、街の人にそのキャラクターを自由に使ってもらえるようにする予定です。



キャラクターシールの例



明屋書店での販売の様子

【本リリースに関するお問合せ先】

東京工芸大学 学事部広報課 担当：林、佐藤

電話：046-242-9600 / FAX：046-242-9638 / e-mail：kikaku@office.t-kougei.ac.jp